# テンタ君だより NO.2

長田商業高等学校
5月1日　発行

長商生のみなさん、元気に過ごしていますか。新型コロナウイルスの猛威は相変わらずで、学校の開始の日程も不透明なままです。

４月を振り返ると、はじめに生徒が来たあとは、授業や学校行事はできませんでした。学校近くの高取山を見上げると、木々の若葉が鮮やかで季節は最高の時期を迎えています。

最高の時期とはいえ、身体を動かした行楽に出かけようと思っても、外出自体が制限されているのが本当に残念です。

新入生のみなさんは、定時制特有の学校生活の雰囲気を感じられずに１か月が経ってしまいました。

早く正常な学校生活に戻れるようになって欲しいですね。

## 素敵な贈り物

新型コロナウイルスで臨時休校が続く中、手続きが完了できていない新入生が多くいます。

そんなある日、「こんにちは」と元気な声をかけながら、紙袋を下げて職員室を訪れた人がいました。

見覚えがある顔ではなかったので、在校生ではありませんでした。用件を聞いてみると、「入学の手続きで来ました」と活発な声で答えてくれました。

新入生のWさんは、応対にあたった先生へおもむろに「よかったらみなさんで使ってください」と言い添えて、紙袋を手渡してくれました。

先生が中身を見ると、細かなチェック柄の布が何枚も重なっていたそうです。「私がマスクを作りました。まだお店にはマスクは売っていません。だからみなさんで困っておられたら使ってください」としっかりと話してくれました。

教頭先生からの丁寧なお礼にも笑顔で答え、Wさんは手続きを終えて帰りました。

その後、マスクの枚数を調べると、５０枚もありました。長商生たちがマスクの有効な使い方ができるよう考えてはということになり、先生方もみんな笑顔で話していました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、心ない中傷を受けている人もいると報じられています。Wさんのような周囲を思いやる優しい心づかいは、感染を気にするあまり、忘れかけている人間としての大事な部分を思い出させてくれました。Wさんのおかげで長田商業高校には、ウイルスが侵入してこない気がします。

Wさん、マスクはみんなで大事に使います。心の一杯こもった素敵な贈り物、本当にありがとうございました。

手づくりマスク

## 季節の中で

新型コロナウイルスの影響で、私たちの生活はがまんを強いられています。花らんまんの春の美しさを直接感じることも、少なかったと思います。

桜の木は花を落とし、今は鮮やかな緑の葉を茂らそうとして、代わってつつじの花があちこちで紫や白の花をほころばせています。校庭では、牡丹の花が今年は二輪咲いています。

春から間もなく初夏へとバトンタッチされる中、ウイルスとの闘いは続きそうな気配です。

学校で勉強したり、アルバイトに汗を流したり、好きな時に遊びに出かけられる日常の生活は、なかなか戻ってきそうにありません。

今は自分のできる最善を考え、また探す行動が大切な時だと思います。何よりもかけがえのない命を守る行動が最優先です。

## 学校の情報はこまめに確認

先行きが不透明な中、学校に関する情報については、ホームページに随時アップしています。生徒や保護者のみなさんは、こまめに確認をお願いします。

５月７日の登校再開日のスケジュールなども掲載しています。よく見ておいてください。

各教科の課題などが入った郵便は、家に届きましたか？多分、勉強の時間もいつもよりはあると思うので、しっかりと取り組んでください。

進学や就職など進路を控えている３・４年生の生徒は、自分の長所を見つめ直したり、将来のありたい自分の姿をイメージするのもいいですね。

学校が再開されたらベストを尽くすことができるコンディションに今のうちからしておきましょう。